

令和4年度事業計画書

公益財団法人
新潟県保健衛生センター

令和4年度事業計画

1. 前年度の動き
2. 今年度の目標
3. 新型コロナウイルス感染症対策
4. 検査事業の計画
5. 健診事業の計画
6. 健康づくり支援事業の計画
7. その他の計画

第1 前年度の動き

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症が依然と続いている状況であり、様々な感染予防対策を講じながら事業を行った。事業目標であった新型コロナワクチン接種事業を市町村（新潟市、小千谷市、見附市、田上町）や企業・大学（新潟日報社、新潟県立大学、新潟青陵学園）からの協力依頼を受けて実施した。地域保健においては、新型コロナワクチン接種事業との日程調整を図りながら、受診者数の増加を目指した。

（1） 母子・学校保健分野

母子保健の先天性代謝異常検査及び学校保健の尿検査等の事業は、新型コロナウイルス感染症の影響が少ない事業として、ほぼ前年度並みの実施を維持した。

令和2年12月より稼働している、新潟大学小児科内に設立した「小児希少疾患協会（あすくるん）」による「希少疾患に対する付加新生児スクリーニング」は、約5,000件実施した。

（2） 地域保健分野

新型コロナウイルス感染拡大による影響は若干緩和され、昨年度に比べ特定健診の受診者数は約5,000件ほど増加し、前年度との比較で117.9%の実施であった。しかし、依然として受診者の受診控えが続いており、令和元年度比では88.7%でコロナ禍以前の回復には至っていない。肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮がん検診も同様に概ね昨年度比では110%前後だが、令和元年度比では90%程度の実施であった。

(3) 職域保健分野

職域健診においては、大規模検診施設との競合に加え、人間ドックの受診数や民間事業所の定期健康診断が減少するなどの影響が出ている。また、公務員関係職場では定期健診だけでなく、各種がん検診の実施や健診後の保健指導、ストレスチェックや産業医活動を含む総合型の健診のニーズが強くなっており、産業保健分野の医師や保健師などの不足のため、対応が困難になりつつある。

(4) 予防接種（新型コロナワクチン接種）

新型コロナウイルス感染症対策の一環として、新潟市、見附市、小千谷市、田上町、新潟県立大学、新潟青陵学園、新潟日報社など、地域住民および職域で約 34,000 件のワクチン接種を実施した。

(5) 健康づくり分野

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、市町村が実施する特定健康診査の受診控えに連動して、保健指導も令和元年度比較で 90%の実施だった。対面型の健康相談や多人数のセミナーの実施も新型コロナウイルス感染症の影響による制限があり、実施数が減少した前年度と比べても 6 割程度の実施にとどまった。

(6) 法人経営

経営面では、人口減少や少子化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響で、検査・健診事業が減少傾向にある中、地域・職域での新型コロナワクチン接種事業による臨時収益により、経常収益は約 2 億 7,000 万円増加した。経常外収益を含む当期一般正味財産増減額は約 7,300 万円の黒字となった。

第2 今年度の目標

令和 4 年度の事業目標として、次の 3 項目を掲げる。

(1) 新型コロナウイルス感染症への対応

ア 新型コロナウイルス感染症の終息が不透明な中、当財団が実施する健診（検診）現場において集団クラスターが発生することのないよう、徹底した感染防止対策に努める。

イ 地域保健においては、住民の「健診控え」などに対し、全ての市町村住民が検診受診の機会を失うことのないよう市町村と連携し、健診受診者数の回復を目指す。

ウ 新型コロナウイルスワクチン接種について、市町村や職域からの協力依頼に積極的に取り組む。

(2) X線デジタル化の完成

当財団のX線デジタル化への取り組みは、平成23年度に成人病検診センターのX線装置一式を更新、平成24年に胸部デジタル車D-1号を配備してからこれまでに胸部デジタル検診車10台(D-10号)や胃がんデジタル検診車4台、マンモデジタル検診車2台(3基)などを配備している。X線フィルムの販売中止を受け、デジタル化が未実施の市町村に対応することも含め、今年度中に車椅子対応リフト付胸部X線検診車(D-11号)及び胃部デジタル検診車E-56号(ポッシュ号改め)を配備し、検診車デジタル化推進の完成を目指す。

(3) 成人病検診センターの業績回復に向けた対応

ア 新潟市内の大型健診施設の影響を受け、人間ドック受診者は大幅に減少している。この減少を補うため、教職員健診や新潟市特定健康診査及び民間事業所等の定期健診の充実をはかり、施設受診者数の増加を目指す。

イ 集団型の検診を基本としている新潟市住民肺がん検診について、今年度も施設の受入れを継続する。また、新型コロナウイルスのワクチン接種の協力依頼に対しても柔軟に対応するとともに、成人病検診センターの事業の多様化を図る。

ウ 新潟市内における他の健診機関の動向を踏まえ、検診機器及び建物設備の更新を行ない、より安全・安心で精度の高い健診の実施を目指す。

これらの課題を踏まえ、令和4年度における事業実施の目標数(述べ人数)は、次のとおりとする。

検査・健診・感染症予防事業の実施計画数 771,600件

(前年度計画比38,920件の増加)

健康づくり事業の実施計画数 16,500件

(前年度計画比 600 件の減少)

第3 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策の一環として、ワクチン接種事業を次のとおり行う。

ア	65歳以上を対象とする市町村住民（小千谷市・見附市）	5,000	件
イ	新潟日報社の職域接種	1,600	件

第4 検査事業の計画

健康状態の評価の基本となる検体の検査データの作成、解析、提供を行う事業である。本部（附属診療所）、中越メジカルセンター、県央メジカルセンター、成人病検診センターの4か所の健診現場から検査室に検体が搬入される。検査から結果報告にいたるまでの速やかな実施とともに、精度管理に努めることが第一の目標である。新型コロナウイルス感染症の影響が比較的少ない事業として確実に実施する。

＊（ ）内の数字は、前年度計画数。以下同じ。

（1）母子保健

新生児の各種代謝異常症や先天性副腎過形成症及び先天性甲状腺機能低下症などの疾病は早期に発見し、早期に治療を行うことにより知的障害等の心身障害を予防することが可能であることから、県及び新潟市からの委託を受け、この疾病の早期発見・早期治療を目的に、新生児に対し血液によるマス・スクリーニングを実施している。現在の検査機器は平成24年に整備したものであり、10年が経過し、新たなタンデムマス検査機器への更新を計画する。また、希少疾患に対する付加新生児スクリーニング検査は、令和3年2月から実質的に開始し、月500～600件ほどの依頼があり、今後も関係医療機関へ働きかけていく予定である。

ア	先天性代謝異常検査	14,500（14,000）
イ	付加新生児スクリーニング検査	6,000（新規）

（2）学校保健

学校保健安全法に基づく尿検査は、市町村教育委員会などからの委託を受け、児童・生徒の腎臓病・糖尿病の早期発見・早期治療を目的に行われている。概

ね、前年度と同様の実施数を予定している。

貧血検査は、各市町村が独自の取り組みを行っており、コロナ禍のため実施を取りやめる市町村もあったが、新型コロナウイルスの感染状況をみながら実施している市町村が多い。

ア 尿検査（一次・二次）	151,000（151,000）
イ 貧血検査	8,000（7,500）

（3） 感染症検査

結核のQFT検査は結核患者の発生の有無によって件数が変動するが、計画としては医療系学生対象の検査数を掲げる。大学・専門学校の医療関係学生は、実習前検査として肝炎ウィルスなどの各種抗体検査を実施する。また、腸内細菌検査は、上・中越の食品衛生協会を中心に検査を受託している。

ア 腸内細菌検査	32,000（33,500）
イ 食品検査	650（650）
ウ QFT検査	1,000（1,000）
エ HPV検査	90（90）
オ 血液検査（抗体）	1,600（1,800）

（4） その他の検査

登録衛生検査所の受託事業として、新潟市医師会メジカルセンターなどからの血液検体委託検査、開業医からの子宮がん細胞診や病理組織検査を中心に実施する。

ア 新潟市医師会等からの血液受託検査	200（650）
イ 開業医等からの病理受託検査	4,200（3,600）

第5 健診事業の計画

健診事業は、疾病の予防と早期発見・早期治療を目的とし、県民の健康を維持するための重要な活動である。とりわけ、当財団は市町村保健行政の補完的な役割を担っている。

新型コロナウイルス感染症の影響により、健診の機会を失うことのないよう、より良い健診体制を構築し、学校保健や地域保健の中核健診機関としての責任を果たして行きたい。

（1） 学校保健

学校保健安全法に基づき、小学校・中学校・高等学校の１年生を対象に、心疾患の早期発見、予防を目的として心臓検診を行う。また、学校定期健康診断における結核の発見率は低下しているが、集団で生活する学校は感染症が蔓延しやすい環境である。結核は集団検診を予防すべき主要な感染症であり、学校教育を円滑に行うため結核検診を行う。

ア 結核検診	24,000	(19,500)
イ 心臓検診	35,000	(36,000)
ウ 学生健診	10,500	(10,000)

(2) 地域（住民）検診

高齢者医療確保法に基づく特定健診・特定保健指導及び健康増進法に基づき市町村が実施する各種がん検診は、高齢化、人口減少に伴って年々、受診者が減少している。令和２年から新型コロナウイルスの感染拡大の影響から受診控えが続き、コロナ禍の前の令和元年度と比較すると 90%程度の実施である。今年度も市町村と連携を密にし、令和元年度以上に受診率を向上させるように努める。

ア 特定健診	32,600	(28,950)
イ 結核検診	100,000	(86,000)
ウ 肺がん検診	125,000	(120,000)
エ 喀痰細胞診	1,200	(1,200)
オ 胃がん検診	15,500	(15,000)
カ 大腸がん検診	35,800	(35,000)
キ 乳がん検診（マンモグラフィ）	22,000	(18,000)
ク 子宮がん	13,000	(10,000)
ケ 前立腺がん検診	4,200	(3,700)
コ 骨粗しょう検診	1,000	(500)

(3) 職域（事業所）検診

職域健診では、行政職場や学校教職員等の健康診断を安定して実施している。令和３年度は航空自衛隊、次年度は加茂市職員の定期健康診断を新規で受託した。最近の傾向として産業医の契約を含む、総合的な検診の委託が増加しており、産業保健分野の医師をはじめとするスタッフの確保が課題である。

ア 事業所定期健診（出張）	20,000	(19,000)
イ 事業所定期健診（ホール）	14,500	(14,000)

ウ	事業所の胸部検診	35,000	(35,600)
エ	事業所の胃がん検診	13,800	(13,500)
オ	事業所の大腸がん検診	13,300	(13,300)
カ	事業所の乳がん検診（マンモグラフィ）	4,100	(4,100)
キ	事業所の子宮がん検診	5,500	(3,200)
ク	事業所の前立腺がん検診	2,000	(1,800)
ケ	事業所の骨粗しょう検診	300	(160)

(4) 人間ドック検診

人間ドックの受診者数は、新潟市内の大規模検診施設の影響を受け、民間健保の受診者が減少している。今年は新潟市医師会メジカルセンターが実施していた、新潟市医師会会員対象の人間ドック業務の受入れを予定している。

ア	人間ドック	3,800	(3,200)
---	-------	-------	---------

第6 健康づくり支援事業の計画

健診事業や検査事業により得られた結果を活用し、医師および保健師などによる個別指導や健康相談、健康講座などを積極的に行なう。

(1) 特定保健指導

「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づく特定保健指導については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により大きく減少したが、新年度は市とのタイアップなどで指導件数を確保したい。

ア	住民対象の特定保健指導	60人	(80人)
イ	職域対象の特定保健指導	280人	(280人)
ウ	健康げんき倶楽部における単独の特定保健指導	25人	(25人)

(2) ストレスチェック

労働安全衛生法に基づくストレスチェックの実施は、原則として、従業員の健康診断を受託している事業所に対して行うこととする。調査項目の検査の実施だけでなく、医師の面接を含めたトータルな受託を基本に、質の高いストレスチェック事業を推進したい。

ア	ストレス検査	10,000人	(11,200人)
イ	医師面接指導	40人	(40人)

ウ メンタルヘルス相談 5人 (5人)

(3) 生活習慣病予防事業

ア 糖尿病予防事業

境界型糖尿病、耐糖能異常者の早期発見と早期の教育、生活指導に積極的に取り組む。

180人 (180人)

イ 喫煙予防事業

COPD（慢性閉塞性肺疾患）患者も含め、外来での診療をとおり禁煙指導を行なう。

10人 (10人)

(4) 健康相談

健康診断の結果を踏まえ、保健師・管理栄養士などの専門職が受診者の健康に関する悩みごとなどに対応する。

ア 人間ドックにおける健康相談 3,800人 (3,200人)

イ 事業所などの定期健康診断における健康相談	}	1,200人 (1,200人)
新潟市特定健康診査における健康相談		
労災二次健康診断における特定保健指導他		

ウ 健康げんき倶楽部における健康相談 140人 (140人)

エ 産業カウンセラーによるカウンセリング 20人 (20人)

(5) 健康教育

市町村、学校、事業所、地区組織などが開催する講演会などに専門スタッフを講師として派遣するほか、健康げんき倶楽部において、少人数制の健康づくりセミナーなどを推進していく。

ア 第17回市民健康講座の開催 270人 (250人)

イ 健康づくりセミナー 150人 (150人)

ウ 連携講座の開催 220人 (220人)

エ 講師派遣 100人 (100人)

(6) 感染症予防（予防接種）事業

主として医療従事者や学生を対象に、B型肝炎、麻疹、風疹、ムンプス、水痘などの予防接種を行い、迅速な流行発生予防に寄与する。

また、国の施策としての新型コロナウイルスワクチン接種においては、地域住民、職域に対して引き続き協力していく。

今年度、インフルエンザワクチン接種は新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、著しく伸び悩んだ。次年度の動向は全く予想できないが、当面、例年通りの実績を目指す。

ア 予防接種（インフルエンザ） 9,000人（12,000人）

イ 予防接種（肝炎ワクチン・MR・水痘他ワクチン接種）
1,800人（1,500人）

ウ 予防接種（新型コロナワクチン） 5,000人（10,000人）

（7） 外国人や障害者等への対応

ア 高齢者・身体障害者への受診対応

リフト装置付胸部検診車を活用し、高齢者や障害者の施設に入所している者に対する胸部X線検査を行う。今年度で胸部レントゲンフィルムが販売中止となるためデジタル装置を搭載した車椅子対応の胸部レントゲン検診車（リフト車）を更新する。

イ 外国籍住民検診

全国的に外国籍住民による結核の増加が問題になっており、健康診断を受ける機会が少ない外国籍の住民に対し、引き続きボランティア団体と協力して無料の胸部（結核）検診を行う。

第7 その他の計画

（1） 健診・検査等の設備投資

令和4年度の設備投資は、前年度（令和3年度）からの2ヵ年継続事業や先送りの事業を含め次の計画に基づいて執行する。

平成24年から取り組んできたX線検診車のデジタル化事業は、今年度、胃部デジタル検診車E-56号、車椅子対応リフト付き胸部X線検診車D-11号を整備することで一応完了させる。また、遅滞している総合健診基幹システムの更新を完了させる。

主な設備投資の計画は次のとおりである。（返済を除く。）

ア 胃部デジタルX線検診車E-56号（ポッシュ号改め）の整備

令和2年度末にマンモ装置の保守が終了し、稼動できなかった乳がん検診車（ポッシュ号）の車体を利用し、胃部デジタル装置の載せ替え（令和4年4月納車予定）を行う。

胃部X線検診車	1台	24,200,000円
---------	----	-------------

イ 車椅子対応リフト付き胸部X線健診車の整備

令和4年度に胸部レントゲンフィルムが販売中止になるため、デジタル装置を搭載した車椅子対応の胸部レントゲン検診車（リフト車）を更新する。

胸部X線検診車	1台	46,351,000円
---------	----	-------------

ウ X線デジタル画像管理システムの読影用高精度モニタ等

デジタル化が未実施の地域（村上など）の読影医師に対するモニタの貸与及び既存の胸部読影用モニタ、巡回検診の画像マッチング用端末などの読影関連機器の更新を行なう。

読影機器	一式	15,000,000円
------	----	-------------

エ 総合健診基幹システムの更新

令和3年度中に更新予定であったが、プロポーザルにより交渉先に選定したシステム会社との契約締結が不調になったことにより、システムの開発が遅滞している。他社複数と交渉を進め、価格面からタック（株）を採用する方針で準備を進め、令和5年度から新システムに移行する。

タック総合健診システム	一式	86,000,000円
-------------	----	-------------

オ 成人病検診センター機器等の更新

新潟市内における他の健診機関の動向（西新潟健診プラザ、ウエルネス検診センターの新設など）を踏まえ、成人病検診センターの検診機器及び建物設備の更新（リニューアル）を行う。

レントゲン機器、検診機器、建物設備等	一式	50,000,000円
--------------------	----	-------------

カ タンデムマス分析装置の更新

県及び新潟市からの委託事業の「新生児先天性代謝異常検査」に使用する「タンデムマス分析装置」について、県及び新潟市の機器購入補助金が決定した場合は、機器を更新する。

タンデムマス分析装置 24,000,000 円
(補助金含む)

キ 建物・設備・車両の整備

本部の空調（冷暖房）設備や建物関係の電気・水道等の設備の整備、車両関係のカーリース契約への切り替え等を行う。

10,000,000 円

計 新規計画（返済を除く） 288,000,000 円（概算）

(2) 職員の資質向上

ア 学会、講習会、研修会等は、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン開催が多くなっている。オンライン開催は一度に多くの職員が参加できるため、職員の資質向上や専門知識・技術の習得のため、積極的に参加させる。

イ 「労働衛生サービス機能評価」において、渉外担当職員の衛生管理者資格取得の指導があったことを受け、渉外担当職員の衛生管理者資格の取得に取り組んでいく。また、放射線技師や臨床検査技師などの専門職においてもスキルアップのため、各種がん検診や超音波検査などの認定技師取得に取り組んでいく。

(3) 関連機関への参加協力

ア 「結核予防会」及び「予防医学事業中央会」への加盟
それぞれの中央本部と連携し、新潟県支部の活動を推進する。

イ 新潟県検診機関協議会への参加協力
協議会の実施する会議・研修会に参加するほか、肺がん検診部会委員長施設として、より精度の高い検診が実施できるよう、会の運営に協力する。

(4) 当財団主催の専門委員会等の開催

健診検査業務の精度の向上を図ると共に新潟大学や医師会等と連携して事業を円滑に実施するため、当財団主催の専門委員会等を下記のとおり開催する。

- | | | |
|---|-------------------|--------------------------|
| ア | 肺がん検診専門委員会(隔月に開催) | 令和4年5月～令和5年2月 |
| イ | 母子関係事業(代謝異常)懇談会 | 令和5年2月
(新潟大学小児科教室と共催) |
| ウ | 胸部検診読影委員会 | 令和5年3月
(新潟市医師会と共催) |
| エ | 子宮がん検診委員会 | 令和5年3月
(新潟大学婦人科教室と共催) |

令和4年度 検査・健（検）診 事業計画

事業区分			令和4年度	令和3年度		A/C (%)	
			(A) 計画数	(B)計画数	(C) 実績見込数		
検査事業	母子	先天性代謝異常検査	14,500	14,000	15,000	96.7	
		付加新生児スクリーニング	6,000		5,000	120.0	
	学校保健	寄生虫検査 ぎょう虫		0	69		
		尿検査	151,000	151,000	152,160	99.2	
		貧血検査（小児生活習慣病含）	8,000	7,500	8,713	91.8	
	感染症	腸内細菌検査	32,000	33,500	32,000	100.0	
		食品検査	650	650	700	92.9	
		Q F T 検査	1,000	1,000	900	111.1	
		HP V検査	90	90	90	100.0	
		血液検査（抗体）	1,600	1,800	1,600	100.0	
	受託	血液 （新潟市医師会）	200	650	600	33.3	
		病理 （開業医・他健診機関）	4,200	3,600	4,200	100.0	
健診事業	学校保健	結核検診（高1年生・大・専門学生）		24,000	19,500	24,042	99.8
		心臓検診（小・中・高生）		35,000	36,000	35,511	98.6
		学生健診（内科含む高・大・専門学生		10,500	10,000	10,250	102.4
	地域検診（巡回健診）	特定健診	全委託	30,000	26,500	29,048	103.3
			一部委託	2,600	2,450	2,536	102.5
		肝炎 特定・単独		1,600	1,500	1,550	103.2
		前立腺がん 特定・単独		4,200	3,700	4,172	100.7
		糖負荷試験		60	60	51	117.6
		胸部検診	結核検診 間接撮影	100,000	86,000	90,250	110.8
			肺がん検診 間接撮影	125,000	120,000	114,178	109.5
			喀痰細胞診	1,200	1,200	1,179	101.8
		胃がん検診		15,500	15,000	14,836	104.5
		大腸がん検診		35,800	35,000	32,727	109.4
		乳がん検診		22,000	18,000	21,230	103.6
		再掲	（マンモ1方向）			17,734	
			（マンモ2方向）			3,497	
		子宮がん検診		13,000	10,000	12,900	100.8
		骨粗しょう検診		1,000	500	1,070	93.5

事業区分				令和4年度	令和3年度		A/C (%)
				(A) 計画数	(B) 計画数	(C) 実績見込数	
健 診 事 業	職 域 検 診	巡回	定期健康診断	20,000	19,000	19,000	105.3
		施設	ホール健診	14,500	14,000	14,000	103.6
			ドック	3,800	3,200	3,200	118.8
		各種検査・がん検診	特殊健診	2,400	1,800	2,400	100.0
			胸部検診(単独・巡回・施設)	35,000	35,600	34,000	102.9
			喀痰細胞診	400	320	390	102.6
			胃がん検診	13,800	13,500	13,400	103.0
			大腸がん検診	13,300	13,300	14,700	90.5
			乳がん検診	4,100	4,100	4,300	95.3
			子宮がん検診	5,500	3,200	5,400	101.9
			前立腺がん検診	2,000	1,800	1,800	111.1
			骨粗しょう検診	300	160	230	130.4
健 康 支 援	感 染 予 防	予防接種		10,800	13,500	9,880	109.3
		(内訳)	インフルエンザ	9,000	12,000	7,580	118.7
			B型肝炎	1,800	1,500	1,800	100.0
			麻疹・風疹(MR)	0	0	260	
			ムンプス	0	0	200	
			水痘	0	0	40	
			肺炎球菌	0	0	0	
			破傷風	0	0	0	
			ツベルクリン反応	0	0	0	
			新型コロナワクチン		5,000	10,000	34,000
		総 計				771,600	732,680

令和4年度 健康づくり支援事業実施計画

	年 度 事業区分	R4年度	R3年度		前年度比較
		(A) 計画数	(B) 計画数	(C) 実施見込数	A/C (%)
特定 保健 指導	住民健診	60	80	67	89.6
	職域健診	280	280	220	127.3
	健康げんき倶楽部	25	25	18	138.9
スト レス チ ェ ッ ク	ストレス検査	10,000	11,200	8,924	112.1
	医師面接指導	40	40	23	173.9
	保健スタッフによる メンタルヘルス相談	5	5	1	500.0
予 防 事 業	糖尿病予防事業	180	180	170	105.9
	喫煙予防事業	10	10	0	0.0
健 康 相 談	人間ドック健康相談	3,800	3,200	3,250	116.9
	定期健康診断・労災2次健診・新潟市 特定健康診査における健康相談	1,200	1,200	1,120	107.1
	健康げんき倶楽部健康相談	140	140	150	93.3
	産業カウンセラーによる カウンセリング	20	20	25	80.0
健 康 教 育	市民健康講座	270	250	290	93.1
	健康げんき倶楽部 健康づくりセミナー	150	150	83	180.7
	連携講座	220	220	33	666.7
	講師派遣	100	100	6	1666.7
総 計		16,500	17,100	14,380	114.7